

令和5年度 明德中学校区研究構想図

【研究主題】

“つながり”の中で自分を磨き、未来を創り出そうとする子どもの育成
～ 一人一人の学ぶ喜びを引き出す「個別最適な学び」を通して ～

資質・能力

【明德中学校区 めざす子ども像】

人とのつながりの中で、自他を尊重し、自ら考え判断し、意欲的に自己を表現する子ども

“つながり”の中で自分を磨き、未来を創り出そうとする子ども

場や状況に合わせて自己の思いや考えを表出している姿

自他を尊重し、自信と意欲をもって取り組んでいる姿

世代を越えた交流により、地域社会との“つながり”を広げている姿

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
後期	学習の素地として確実に身に付けておく必要がある知識・技能を習得しており、他の学習や生活の場面でも活用できている。	複数の情報を多様な方法で関連付け、論理的に、自分の考えを表現している。	目標に対して、どこまで達成したのかを把握し、どんなことが課題に残ったのかを考え、これからどのようなことをやっていきたいのかを試行錯誤している。
中期		複数の情報を結び付け、理由や根拠を明らかにして、筋道立てて、自分の考えを表現している。	目標に対して、どこまで達成したのかを把握し、どんなことが課題に残ったのかを考えようとしている。
前期		理由や根拠を明らかにして、筋道立てて、自分の考えを表現している。	目標に対して、どこまで達成したのかを考え、その後も主体的に取り組もうとしている。

子どもの実態

学びを支える言葉の力に課題があり、基礎的な学力が定着しているとはいえない。

学びと生活、学びと自分とがつながっていない。

地域や社会に対する思いや地域のために貢献しようとする意識が薄い。

手立て・取組

つながり部会

「人とのつながり」と「自他を尊重する」児童生徒の育成

地域の構成員としての意識の育成

家庭・地域を巻き込んだ防災教育の充実

生活習慣を再認識させるための取組

SELを活用した共感的な人間関係の育成

授業改善部会

「個別最適な学び」と「協働的な学び」主体的な学ぶ児童生徒の育成

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

学びを支える言葉の育成に向けた授業改善

特別支援や児童理解の視点を取り入れた一人一人に寄り添う教育活動の推進